

2020年10月27日
日鉄物産システム建築株式会社
代表取締役社長 生井敏夫

20年度上期 半期受注高が過去最高

20年度の当社の上半期の受注高は127億円（対前年同期比：115.7%）となり、半期での受注高が過去最高となった。地区別では関西地区と東北地区が半期で過去最高の受注高となった。

上期の受注棟数は92棟、受注床面積22.7万㎡、一棟当りの平均床面積2463㎡となり、平均床面積も過去最大となった。

2019年度より販売を開始した大規模建築物に対応可能な「SUMISYS NEO」の受注が上期で7棟と好調に推移しており、受注高及び平均床面積の拡大に寄与している。

従来からの「地域に密着した営業体制」、「会員と連携したビジネススタイル」に加え、コスト・工期が読みづらい現況下で、その点が明確にできるというメリットも建築主のニーズにマッチしている。

今秋発表された「SUMISYS NEO Phase III」の投入により、2020年度の受注高は250億円を見込む。



物件名／「株式会社こしじ販売 ライスセンター建設工事」 建設地／岩手県胆沢郡
商品名／トレオ 建築主／株式会社こしじ販売様 施工者／板谷建設株式会社様